

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	縄文時代の家づくり体験記事業
事業主体 (連絡先)	朝日村 朝日村教育委員会 TEL (0263) 99-2004
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,484,480円 (元気づくり支援金841,000円)

#### 事業内容

熊久保遺跡内にある竪穴住居を復元する機会にあわせて、茅葺き体験会を2回(朝日小学校児童、一般対象)、縄文時代の竪穴住居と熊久保遺跡について学ぶ講演会を2回実施し、竪穴住居復元記録パンフレット2,000を作成・配付し、朝日美術館にて熊久保遺跡を紹介する企画展を開催しました。



【復元された竪穴住居】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 朝日小学校の授業で6年生が37名、一般向け体験会で22名が茅葺き作業に参加し、古来より伝わる茅葺きの技術や竪穴住居の構造が実体験で学びました。
- 講演会には村内外から24名が参加し、熊久保遺跡の考古学的価値や縄文時代の暮らしについて学び、地元埋蔵文化財への関心を高めることができました。
- 縄文時代の世界観に通じるような現代作家の作品と縄文土器を展示した企画展には130人の入館者がありました。企画展視察の申し込みが近隣町村から来るなど話題となり、熊久保遺跡を広く紹介する機会となりました。

#### 【目標・ねらい】

- 茅葺き作業参加者100人
- 講演会参加者50人
- 企画展入館者150人

※自己評価【 C 】

#### 【理由】

竪穴住居の復元とあわせた本事業は新聞報道などに多数取り上げられ、熊久保遺跡を再評価するきっかけとなりましたが、参加者が目標に達しませんでした。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回の事業により地元での熊久保遺跡への関心や評価が高まったので、さらに拡大していくよう竪穴住居や出土品に関連したイベントや企画展を定期的に行います。熊久保遺跡と同時代に存在していた遺跡を有する市町村ともタイアップし、地元の埋蔵文化財を広域的にとらえて紹介できるよう工夫していきます。復元した竪穴住居のメンテナンス方法を見直し、草刈りなど環境整備は住民参加で取り組んでいきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある